



東北大学

平成26年1月10日

報道機関各位

東北大学大学院教育学研究科

震災子ども支援室“S-チル”第5回シンポジウム

「東日本大震災後の支援の多様性」について

～電話相談ができること～

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“Sチル”では、このたび第5回シンポジウム「東日本大震災後の支援の多様性」について～電話相談ができること～を下記のとおり開催いたします。

東日本大震災から今日までの2年10ヶ月の間、電話相談等で日常的に被災者支援に携わっていた方々の報告をもとに、電話相談から発生する多面的な支援の様子、今後電話相談ができること等について議論をしてみたいと思います。

つきましては市民の皆様幅広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

記

1. 日時及び場所

日時 平成26年2月1日（土）13時30分～16時（受付開始13時）

場所 東北大学文科系総合研究棟11階大会議室（仙台市青葉区川内）

2. 主催

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“Sチル”

3. シンポジスト

田中 吟子 氏（仙台いのちの電話常務理事）

高柳 伸康 氏（からころステーション 相談員）

平井 美弥 氏（東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室S-チル 相談員）

4. 対象者

相談業務に関わっていらっしゃる方

5. 参加、取材申込方法

震災子ども支援室までFAX（022-795-3263）かメール（s.children@sed.tohoku.ac.jp）で御連絡下さい。参加無料です。

6. お問い合わせ先

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”

TEL：022-795-3263

URL：<http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”第5回シンポジウム

“東日本大震災後の支援の多様性”

～電話相談ができること～

東日本大震災から今日までの2年10ヶ月の間、電話相談等で日常的に被災者支援に携わっていた方々の報告をもとに、電話相談から発生する多面的な支援の様子、今後電話相談ができること等について議論をいたします。

- 報告1 “仙台いのちの電話は、震災後の状況にどのように対応したか”
～被災者の切実な声は何を訴えていたか～
仙台いのちの電話 田中 吟子氏
- 報告2 “被災地 からころステーション電話相談の現状”
からころステーション 高柳 伸康氏
- 報告3 “電話相談からみえてきたもの”
～S-チルでのとりくみから～
東北大学大学院教育学研究科
震災子ども支援室“S-チル” 平井 美弥氏

• フロアーとのディスカッション

- 日 時 2014年2月1日(土) 13:30～16:00
- 会 場 東北大学文科系総合研究棟 11階大会議室
- 参加者 相談業務に関わっていらっしゃる方
- 参加費 無 料
- 定 員 100名(定員になり次第締め切り)
- 申込方法 電話・FAX・E-mailでお申し込みください



- 問合せ先：東北大学大学院教育学研究科
震災子ども支援室 “S-チル”
Tel&Fax 022-795-3263
E-mail : s.children@sed.tohoku.ac.jp

参加申込書

F A X : 022-795-3263

フリガナ		
お名前		男・女
フリガナ		
お名前		男・女
ご住所	〒	
TEL/FAX	TEL	
	FAX	
備考		

